

時計駆動器 QP-500LS

仕様書

1. 概要

本製品はソーラーパネルで発電した電力を内部キャパシタに蓄電し、3線式または2線式の子時計と組み合わせてアウトドアクロックを構成する時計駆動器です。

本製品にはφ500～φ700の子時計を2面まで接続できます。

2. 特長

- ・長波受信器を接続することにより、正確な日本標準時に同期します。
- ・長波受信器により、サマータイム時の時刻変更を自動的にを行います。
- ・設置時に現在時刻の手動による設定が不要です。
- ・ソーラーパネルの設置条件を満たした場合、キャパシタと電池の交換時期は10年～15年です。

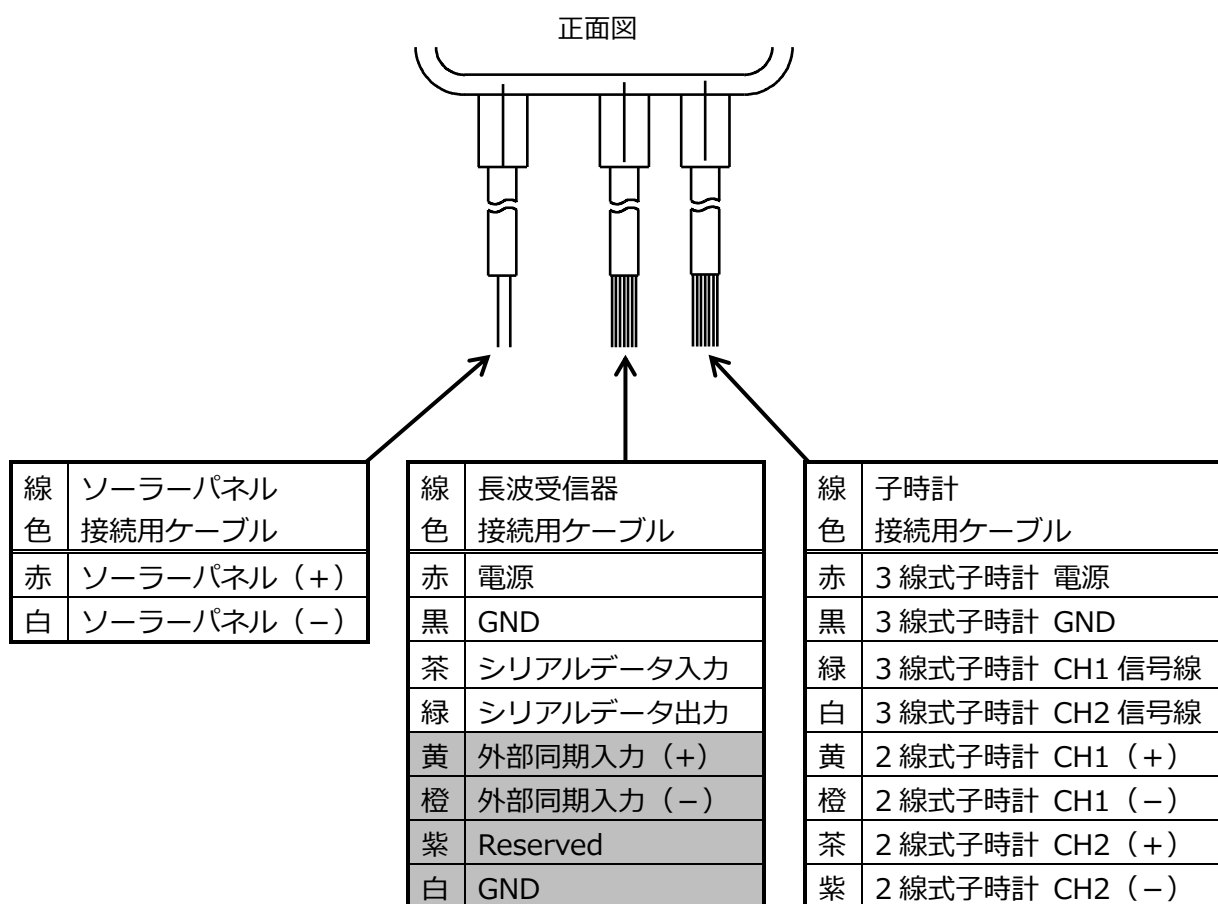
3. 仕様

3.1. 電気的仕様

時 計 精 度	平均月差 ±3 秒以内 (0℃ ~ +40℃) 長波受信器による修正時、積算誤差 0 秒	
動 作 温 度 範 囲	-20℃ ~ +60℃	
保 存 温 度 範 囲	-25℃ ~ +60℃	
動 作 湿 度 範 囲	90%以下 (at 40℃)	
保 存 湿 度 範 囲	90%以下 (at 45℃)	
ソ ー ラ ー パ ネ ル	数 量	1 枚
	最 大 出 力	580mW
	解 放 電 圧	7.4V
	短 絡 電 流	106mA
	設 置 条 件	太陽光が1日に4時間以上 (AM10:00~PM2:00) 当たる場所
子 時 計 出 力 回 路 数	3 線 式	2ch
	2 線 式	2ch
子 時 計 出 力 信 号 形 態	3 線 式	電源, GND, シリアル信号による3線式 シリアル信号 : 定電流出力(6mA / ch) / 30 秒毎に出力 フォーマット : 時分秒 + ジャストタイム同期 4800bps, データ 8, ストップ 1, パリティ無し
	2 線 式	30 秒有極信号 DC3.6V パルス幅 250msec
出 力 容 量	3 線 式	DC3.6V,80mA
	2 線 式	60mA / ch
長波受信器	修 正 頻 度	1 回 / 1 日 AM2:00 受信できない場合 PM6:00 まで 1 時間毎に再受信
	修 正 精 度	±100msec 以下

サマータイム	長波受信器による自動設定	
その他機能	デジタル緩急	手動による正確な 0 秒合わせを繰り返すことで時計精度を上げる機能
	シリアル同期	時計駆動器をシリアル接続し、同期させる機能
蓄電部	キャパシタ DC3.6V ※ソーラーパネルにより蓄電します。	
補助電池	リチウム電池 DC3.6V, 19Ah ※キャパシタの電力が不足した場合に、切り替わります。 電池のみで約 300 日動作可能です。	
時刻表示	アルファニューメリック液晶モニタ	
調針	3 線式	シリアル信号による自動追従
	2 線式	キー操作によるプリセット自動調針
外觀	211(H) × 110(W) × 77(D)mm	
質量	約 530g	

3.2. 信号線仕様



※ 表中の網掛部は標準的には使用しません。